

仕 様 書

1. 品 名 高速冷却遠心機

(内訳) 高速冷却遠心機

エッペンドルフ・ハイマック・テクノロジーズ CR21N
培養管用ローター

エッペンドルフ・ハイマック・テクノロジーズ R18A
マイクロプレート用スイングローター

エッペンドルフ・ハイマック・テクノロジーズ R5S4

※参考機種のほか、3の基本的仕様を満たしているもの

2. 数 量 一式

3. 基本的仕様

- ① 高速冷却遠心機は、最高回転速度 21,000rpm 以上、最大遠心加速度は $53,500 \times g$ 以上であること。
- ② 高速冷却遠心機は、温度設定範囲 $-20^{\circ}\text{C} \sim +40^{\circ}\text{C}$ であること。
- ③ 高速冷却遠心機は、本体寸法 700mm(W) $\times$ 760mm(D) $\times$ 915mm(H) 以下で質量は 260kg 以下であること。
- ④ 高速冷却遠心機は、電源 AC200V $\pm$ 10% 単相 30A で動作可能であること。
- ⑤ 高速冷却遠心機は、ローターカバー取り付けミス検出機能を搭載していること。
- ⑥ 高速冷却遠心機は、現有機（ハイマック社高速冷却遠心機）のローターの使用が可能であること。
- ⑦ マイクロプレート用スイングローターは、マイクロプレート $\times$ 12 枚/ディープウェルプレート $\times$ 4 枚以上を最高回転数 4,700rpm、 $3,000 \times g$ 以上で遠心可能であること。
- ⑧ マイクロプレート用スイングローターは、ロータークイックセッティング方式を採用し、ローター取り付け時にネジ固定やボタン操作を必要とせず、取り付けができること。
- ⑨ 培養管用ローターは、50mL 遠沈管 $\times$ 8 本以上を 18,000rpm、 $42,200 \times g$ 以上で遠心可能であること。
- ⑩ 培養管用ローターは、ロータークイックセッティング方式を採用し、ローター取り付け時にネジ固定やボタン操作を必要とせず、取り付けができること。

4. 納入場所

国立研究開発法人国際農林水産業研究センター
海外生物工学実験棟 2階 分子生物学実験室2

5. 納入期限

令和5年3月15日

6. その他

- (1) 納入日、納入方法等の詳細については、担当職員と打合わせのうえ実施すること。
- (2) 機器の搬入、据付完了後、試運転、性能試験を行うこと。
- (3) 納入・設置に際し、在来部分を汚損した場合は、在来に倣い補修すること。
- (4) 納品の際は、検査職員の検査を受けること。
- (5) 修繕の費用については、使用者の故意又は重過失によるものを除き、納入後1年間無償とすること。
- (6) その他、業務中に疑義が生じた場合は、担当職員と協議のうえ業務を完了させること。
- (7) 納入場所にはエレベーターがないため、クレーンによる機器の搬入を行うこと。